

高大連携、体験イベント、夏休み 2018年7月26日/No.36

■ 学問分野の視野を広げ、目的意識をもった学習へ ■

**触れ、試し、学際的に学ぶ！大学の学びを夏休みに体感**  
**～ 高校生向けセミナーを4つ開催 ～**

【実施日】8月1日(水)、3日(金)、5日(日)、6日(月) 【場所】千里山キャンパス、高槻ミュージックキャンパス

関西大学では、大学の教育・研究の成果を分かりやすく解説するプログラムを通じて、夏休み中の高校生らが大学の学びを体感できる4つのセミナーを8月1日(水)から8月6日(月)にかけて開催します。

本件の  
ポイント

- ・大学ならではの知に触れることで、学問分野に対する視野を広げ、目的意識をもった学習に誘導
- ・災害から守ってくれている身近な仕組みなど、実社会で活用されている知識や技術を学習
- ・演習や実験などを通じ、実社会の課題と大学の学びとの結びつきに対する意識を向上

今回の高校生向けセミナーでは、「人々の安全を科学する」、「広告がひとを動かす」「知っているアジア知らないアジア」、「みえない世界ってどんな感じ！？～視覚障がい者といっしょに空間体験～」の4つのテーマのもとに実施します。

◆ **社会安全学部セミナー「人々の安全を科学する」**

8月6日(月) 10:00～15:00 高槻ミュージックキャンパス

私たちの生活の安全を自然災害や社会災害から守ってくれている身近な仕組みを、講義・実験・演習という異なるスタイルで学びます。①講義では、**災害が暮らしや社会に与える影響**について需要曲線・供給曲線を使って学習し、②実験では、**アルミ缶を使った圧壊**を体験し、実験を通じて材料や構造物の強さについて考え、③演習では、**リスク情報を活用するための効果的な伝え方**について実際に体感することで、普段の授業では体験できないような、学際的な学習の機会を高校生に提供します。

◆ **セミナー「広告がひとを動かす」**

8月1日(水) 10:00～15:20 千里山キャンパス

品物や商品を売る仕事や商品を広めるための「広告」はどのように企画されて私たちが目にするのか、どのような「ひとを動かす」方法が隠れているのか学習します。

◆ **政策創造学部セミナー「知っているアジア 知らないアジア」**

8月3日(金) 10:30～15:00 千里山キャンパス

東アジア、東南アジア、南アジアなど色々な地域を指す言葉がある中で、「アジア」とは一体何を指すのか、どのような違いがあるかについて学びます。

◆ **日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ」**

テーマ【みえない世界ってどんな感じ！？～視覚障がい者といっしょに空間体験～】

8月5日(日) 12:30～18:30 千里山キャンパス

視覚障がいの人たちがどのように空間を把握しているのか、また、どのような行動をするのかを理解し、視覚障がい者が生活で困っていることなどを学習します。受講生はアイマスクを着用し、視覚障がい者と一緒になって空間把握に挑戦します。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、ぜひ取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：浦田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1507 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

## ■ 高大連携センターのセミナー詳細

### ○ 社会安全学部セミナー「人々の安全を科学する」

高大連携センターが実施する公開講座型プログラムで、講義だけでなく、演習や実験など体験的な学びを組み入れたプログラムです。私たちの生活の安全を自然災害や社会災害から守ってくれている身近な仕組みを、講義・実験・演習という異なるスタイルで学習します。

【日 時】 8月6日(月) 10:00~15:00

【対 象】 高校生 定員 50名 (申込は終了しています)

【場 所】 高槻ミュージズキャンパス

➤ 社会安全学部セミナー「人々の安全を科学する 一触れ、試し、学際的に学ぶ」サイト

<http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/news/2018/06/post-43.html>

#### 演習：見て、話す（災害情報）

内 容：多発する災害や事故から命を守るため、現代社会ではさまざまな「リスク情報」を活用することが求められています。演習を通して、どのような伝え方をすれば情報がより伝わりやすくなるのか、実際に体感します。

講 師：社会安全学部准教授 近藤 誠司

#### 講義：聴く、考える（災害経済、復興経済）

内 容：災害が起こった時、私たちの暮らしや生活にはどのような影響があるでしょうか。需要曲線と供給曲線を使って、災害時にはどのような問題が発生するか考えます。

講 師：社会安全学部教授 永松 伸吾

#### 実験：触れ、試す（安全工学）

内 容：薄肉の材料で作られた容器内を減圧すると、大気圧との差で大きな力がかかり、容易に圧壊します。逆に容器内が許容値範囲を超えて高圧になれば、破裂してしまいます。実際にアルミ缶を使って圧壊を体験し、材料や構造物の強さについて考えます。

講 師：社会安全学部教授 小澤 守

### ○ セミナー「広告がひとを動かす」

高大連携センターが実施する公開講座型プログラム。品物売る仕事や商品を広めるための「広告」はどのように企画されて私たちが目にするのか、どのような「ひとを動かす」方法が隠れているのか学習します。

【日 時】 8月1日(水) 10:00~15:20

【対 象】 高校生 定員 50名 (申込は終了しています)

【場 所】 千里山キャンパス

➤ 高校生対象セミナー「広告がひとを動かす」サイト

<http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/news/2018/06/post-40.html>

### ○ 政策創造学部セミナー「知っているアジア 知らないアジア」

高大連携センターが実施する公開講座型プログラム。東アジア、東南アジア、南アジアなど色々な地域を指す言葉がある中で、「アジア」とは一体何を指すのか、どのような違いがあるか学びます。

【日 時】 8月3日(金) 10:30~15:00

【対 象】 高校生 定員 20名 (申込は終了しています) 【場 所】 千里山キャンパス

➤ 政策創造学部セミナー「知っているアジア 知らないアジア」サイト

<http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/news/2018/06/post-42.html>

## ■ 日本学術振興会のセミナー詳細

### ○ 日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～」

大学の最先端の研究成果について、小学5・6年生、中学生、高校生が自ら「見る」「聞く」「触れる」ことで、科学の面白さを感じてもらうことを目的としたプログラムです。今回は、視覚障がいの人たちがどのように空間を把握し、どのような行動をするのかを理解し、視覚障がい者が生活で困っていることや危険なことを学習します。受講生はアイマスクを着用し、視覚障がい者と一緒になって空間把握に挑戦します。

【テーマ】「みえない世界ってどんな感じ！？～視覚障がい者といっしょに空間体験～」

【日 時】 8月5日(日) 12:30~18:30

【対 象】 高校生 定員 20名 ※要事前申込、先着順受付

【場 所】 千里山キャンパス

➤ ひらめき☆ときめきサイエンスの案内

[http://www.kansai-u.ac.jp/mt/archives/pdf/180706\\_n\\_hirameki.pdf](http://www.kansai-u.ac.jp/mt/archives/pdf/180706_n_hirameki.pdf)